

2017年度 事業報告

I. 総括

インダストリー4.0 や IoT に代表されるものづくりの新潮流に対する安全や非製造業分野での安全への要求、経営層への安全概念の普及など、要員認証や関連する安全認証のための安全に関する広範な要求に応えるべく、ロボットセーフティアセッサ資格認証制度や Safety2.0 適合審査登録制度の創設をはじめ、国際安全シンポジウム、安全経営フォーラムの開催、向殿安全賞表彰、協調安全の国際標準化提案に向けたフィージビリティ調査の実施など広範囲の活動を実施するなど、多くの成果をあげることができた。

II. 重点施策

1. 事業基盤の確立

IGSAP 設立後 2 年目となった 2017 年度においては、新分野、新領域を対象とした認証のスキームの創設や未来安全構想の発表など、安全に対する積極的な活動を行い、中央労働災害防止協会、（一社）日本電気制御機器工業会との相互入会など、法人・団体正会員 6 社と法人・団体賛助会員 6 社の入会に繋げることができ、次年度以降の事業展開の基礎を構築することができた。今後、これをベースとして、更なる会員の拡充により事業基盤の確立を図っていく。

2. 事業の推進

海外の安全専門家を招いた国際安全シンポジウムの開催や未来安全構想の発表、経営層を対象とした安全経営フォーラムの開催、ロボットセーフティアセッサ資格認証制度や Safety2.0 適合審査登録制度の創設など積極的に事業推進を行った。

2-1 安全に関する仕組や制度づくり

1) ロボットセーフティアセッサ資格認証制度（ロボット委員会）

ロボットに関連するシステムインテグレータ（SI）、設計者及び作業者を対象としたロボット安全資格制度を、SA 資格制度に付加する形態で構築。試行講習（12 月）、試行試験（1 月）を経て、2018 年度より本格運用を開始する。

2) Safety2.0 適合審査登録制度（SE5）

協調安全を具現化した、製品、システムさらにはプロセス、サービスを対象として、Safety2.0 適合審査をおこない登録する制度として2月に創設した。第1号申請案件として㈱NIPPOのWSSシステムについて、審査を実施し3月登録した。

3) セーフティオフィサー（SO）資格認証制度（SE6）

e-ラーニングを前提とした、教育講習カリキュラム作成、クラス別（SE, SM, SS）カリキュラム作成、講習ビデオ作成など実施した。コンテンツをもとに顧客調査を実施したが、一般企業を対象とした講習方法など課題があり、再検討とした。

4) 建設・土木認証制度（建設委員会）

建設・土木機械やそれらを使用している現場監督や作業者及びシステムを主なる対象に、既存の資格認証制度にない新たな認証制度の調査・研究・スキーム構築検討を行ったが、具体的な制度設計に着手できていない。

5) 協調安全の国際標準化提案に向けたフィージビリティ調査（期中追加案件）

（協調安全フィージビリティスタディ調査委員会、協調安全調査WG）

経済産業省支援事業（㈱野村総合研究所受託事業）として、協調安全の国際標準化提案に向けたフィージビリティ調査を実施した。2017年9月4日に受託し、2018年3月16日に報告書を提出した。

2-2 安全に関する事業展開

1) 安全経営フォーラム（SE1）

セーフティエグゼクティブフォーラム（SEF）は制度を見直し、会員参加の安全経営フォーラムとした。2017年度に3回のイベントを実施し、2018年度4月から正式に開催開始した。

2) 未来安全構想の出版（SE2）

未来安全構想をまとめ、6月の国際安全フォーラムで発表、出版した。今後のIGSAPの安全推進活動の指針として活用していく。

3) 安全投資対効果の調査・研究と指標づくり（ものづくり分野）（SE3）

分科会を一度開催したが、その後の具体的活動は実施できていない。

4) 技術導入支援事業の試行

Safety2.0 適合の技術導入支援を、（株）日経 BP と連携して、NIPPO プロジェクトにて試行した。分科会 SE5 と建設委員会が連携して3回実施した。

5) e-ラーニングの運用（SE6）

分科会 SE6 にて、（株）日経 BP 様にて、実施検討をおこなってきたが、具体的展開には至っていない。

6) 安全経営ランキング

具体的検討を実施できなかつた。2018 年度活動案件に繰越する。

III. 社員総会・理事会の活動報告

1. 社員総会

1) 社員総会

2017 年 7 月 4 日に社員総会を開催し、以下の議案が承認可決された。

【議案】

第 2 号議案：特別会計設置の件

以下は提案を取り下げた。

第 1 号議案：定款の一部変更の件

2) 臨時社員総会

2017 年 8 月 3 日に臨時社員総会を開催し、以下の議案が承認可決された。

【議案】

第 1 号議案：会員規定 改定の件

第 2 号議案：理事退任と選任の件

2. 理事会

1) 第 1 回理事会

2017 年 7 月 4 日に第 1 回理事会を開催し、以下の議案が承認可決された。

【議案】

- 第1号議案：平成28年度 事業報告 承認の件
 - 第2号議案：平成28年度 収支報告 承認の件
 - 第3号議案：平成28年度 監査報告の件
 - 第4号議案：2017年度 基本方針及び施策・事業計画 承認の件
 - 第5号議案：2017年度 収支予算 承認の件
 - 第6号議案：会員入会の件
 - 第7号議案：委員会設置と委員長選任の件
 - 第9号議案：旅費交通費規定 制定の件
 - 第10号議案：謝金規定 制定の件
 - 第13号議案：特別会計設置の件
- 以下は再提案とした。
- 第8号議案：会員規定 改定の件
 - 第11号議案：セーフティグローバル推進機構規格規定 制定の件
 - 第12号議案：定款の一部変更の件

2) 第2回理事会

2017年8月3日に第2回理事会を開催し、以下の議案が承認可決された。

【議案】

- 第1号議案：会員規定 改定の件
- 第2号議案：委員会規定 改定の件
- 第3号議案：理事後任者選任の件

3) 第3回理事会

2018年1月19日に第3回理事会を開催し、以下の議案が承認可決された。

【議案】

- 第1号議案：入会会員 承認の件
 - 第2号議案：謝金規定改定 承認の件
- 以下は提案を取り下げた。
- 第3号議案：IGSAP 規格・要領作成規定 承認の件

4) 第4回理事会

2018年3月30日に第4回理事会を開催し、以下の議案が承認可決された。

【議案】

第1号議案：入会会員 承認の件

第2号議案：個別事業 承認の件

第3号議案：H30年度事業計画案 承認の件

第4号議案：H30年度収支予算案 承認の件

IV. 主要事業及び委員会活動一覧

1. 主要事業の実施

以下の主要事業を実施した。

開催日程	場所	内容
H29/6/8	ベルサール九段 イベントホール	第1回 国際安全シンポジウム (Dr. Reinert, Dr Baptiste)
H29/10/13	東京ビッグサイト レセプションホール	第2回 国際安全シンポジウム (Dr. NIc Rigby)
H30/1/19	虎ノ門会議室 中会議室 A	安全経営フォーラム
H30/2/15	中央労働災害防止協会 8F 大会議室	安全経営フォーラム (Dr. Pete Kines)
H30/3/7	中央労働災害防止協会 8F 大会議室	安全経営フォーラム (Dr. Tommi Alanko, Ms. Tiina-Mari Monni)
(H30/4/23)	機械振興会館 B2-1 会議室	第1回安全経営フォーラム

2. 委員会活動

1) セーフティエグゼクティブ委員会

委員会の開催日程及び審議内容について示す。

委員会	開催日程	審議内容
第4回委員会	H29/4/18	未来安全構想、国際安全シンポ、安全投資指標、安全アンケート、e-ラーニング、Safety2.0 適合マーク 他

第5回委員会	H29/5/16	訪欧打合せ報告とパネル討論内容について、国際安全シンポジウムの案内と応募状況について、日欧未来安全連携会議、「未来安全構想」の打ち出し方 他
第6回委員会	H29/7/13	セーフティエグゼクティブフォーラム (SEF) について、ゼロアクシデントフォーラム (ZAF) 欧州調査や独仏蘭との連携について、Safety2.0 適合マーク」制度について、セーフティエグゼクティブ資格制度創設と e ラーニング他
第7回委員会	H29/8/3	8月欧州 ZAV 調査について、Safety2.0 各事業の推進について、オリンピック 1000 前シンポジウム、安全経営 (旧 SE) フォーラム、Safety2.0 マーク適合制度 他
第8回委員会	H29/9/26	海外調査報告、国際安全シンポジウム IoT/AI 時代の「安全革命」、経営安全フォーラム、協調安全の国際標準化提案に向けたフィージビリティ調査 他
第9回委員会	H30/1/19	SE 委員会・WG に関連する諸活動報告、新組織体制・強化策等について、SE 委員会・WG の活動の展望と活動についての意見交換 他

セーフティエグゼクティブ委員会は、上記一覧のほか、6つの分科会や事前打合せ、個別打合せなど実施した。

2) ロボット委員会

委員会の開催日程及び審議内容について示す。() 内は 2018 年度の委員会

委員会	開催日程	審議内容
第3回委員会	H29/6/5	ロボット SA 制度の制度設計について、制度規定 (案) の説明と検討、講習方法の検討、試験方法の検討 他
第4回委員会	H29/6/28	セーフティアセッサロボット版の制度設計、セーフティアセッサロボット版認証試験に関わる課題についての検討と審議 他
第5回委員会	H29/9/7	セーフティアセッサロボット版の準備とつめ 他
第6回委員会	H29/10/19	ロボットセーフティアセッサ認証制度の準備とつめ、ロボットセーフティアセッサ認証制度の新設について、セーフティアセッサ認証体系の拡張 他

第7回委員会	H29/10/19	ロボットセーフティアセッサ資格認証基準、ロボットセーフティアセッサ資格認証における試験実施機関の業務委託に関する覚書、試験問題レビュー 他
第8回委員会	H30/2/14	ロボット SA 試験（試行）について、ロボットセーフティアセッサ資格認証基準について 他
第9回委員会	H30/3/9	ロボットセーフティアセッサ資格認証基準について 1) 認証基準 2) 試験基準 3) 要領など 他

3) 建設委員会

委員会の開催日程及び審議内容について示す。

委員会	開催日程	検討内容
第1回委員会	H29/8/4	Safety2.0 適用事例調査（株）NIPPO 様にて （第1回 Safety2.0 事例検討会）
関連実施事項	H29/9/21	第2回 Safety2.0 事例検討会
	H29/11/7	第3回 Safety2.0 事例検討会

4) 向殿安全賞表彰審査委員会

第3回向殿安全賞の応募・審査をおこない、団体1社、特別功労賞1名、功労賞1名、功績賞1名、奨励賞1名 計5名（社）を表彰した。表彰式は2017年11月30日 東京・ビッグサイト SCF2017 会場にて盛大に開催し、記念講演も実施した。

委員会	開催日程	検討内容
向殿安全賞表彰審査委員会	H29/10/17	応募者の審査と決定

5) Safety2.0 適合判定委員会

Safety2.0 適合審査登録制度の設立、第1号申請により、判定委員会を開催した。

委員会	開催日程	検討内容
Safety2.0 適合判定委員会	H30/1/17	第1号申請（株）NIPPO 様の審査結果に対する判定を実施した。（適合と判定）

以上